

# MELSEC-L CPU ユニット(内蔵 I/O 機能 高速カウンタ)用サンプルラダー リファレンスマニュアル

## 《目次》

リファレンスマニュアル改訂履歴 .....	2
1. 概要 .....	3
2. 通常モード共通 .....	9
3. プリセット機能 .....	11
4. 一致出力機能 .....	12
5. ラッチカウンタ 1 .....	14
6. ラッチカウンタ 2 .....	16
7. カウントディセーブル機能 .....	17
8. サンプリングカウンタ機能 .....	19
9. ラッチカウンタ・プリセット機能 .....	21
10. オーバフロー検出処理 .....	22
11. 周波数測定モード .....	23
12. 回転速度測定モード .....	24
13. パルス測定モード .....	25
14. PWM出力モード .....	27
15. エラー, ワーニングリセット .....	28
16. 一致検出割込み機能 .....	30

## リファレンスマニュアル改訂履歴

リファレンスマニュアル番号	改訂日	改訂内容
LDM-M002-A	2011/04/30	新規作成

1. 概要

サンプルラダー概要

本プログラムは、MELSEC-L CPU ユニット LCPU の内蔵 I/O 機能(高速カウンタ機能)を使用するシステムのサンプルラダーです。

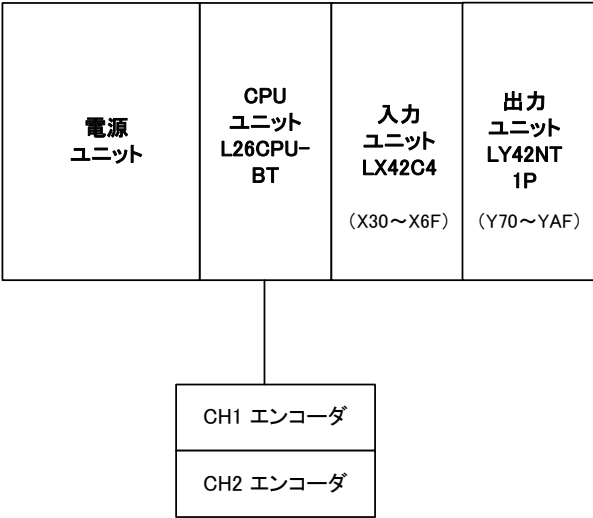
対象機器

本サンプルラダーの対象機器を以下に示します。

機種	内容		
CPU ユニット			
	シリーズ	モデル	
	MELSEC-L シリーズ	LCPU	
入力ユニット	MELSEC-L シリーズ 入力ユニット		
出力ユニット	MELSEC-L シリーズ 出力ユニット		
エンジニアリングツール	GX Works2		
	シリーズ	言語	対応しているソフトウェアバージョン
	MELSEC-L シリーズ	日本語	Version1.20W 以降
	GX Developer		
	シリーズ	言語	対応しているソフトウェアバージョン
MELSEC-L シリーズ	日本語	Version8.94Y 以降	

システム構成

本サンプルラダーで使用するシステム構成を以下に示します。



## サンプルラダー機能内容

本プログラムでは、以下の機能を実現します。

No.	プロジェクト名	プログラム名	項 目	内 容	バージョン
1	LD-LCPU_CNT_V1 00A_J	01CmnPgm	通常モード共通	通常モードで動作させる場合の共通処理を行います。	1.00A
2		02PreSet	プリセット機能	プリセット指令の ON/OFF を行います。	1.00A
3		03MchOut	一致出力機能	CH1 の一致出力リセット指令の ON/OFF を行います。	1.00A
4		04Lcnt1	ラッチカウンタ 1	ラッチカウンタ 1 のラッチカウント値を取得します。	1.00A
5		05Lcnt2	ラッチカウンタ 2	ラッチカウンタ 2 のラッチカウント値を取得します。	1.00A
6		06DisCnt	カウントディセーブル機能	CH1 のカウンタ機能選択開始信号の ON/OFF を行います。	1.00A
7		07SplCnt	サンプリングカウンタ機能	CH1 のサンプリングカウントデータを取得します。	1.00A
8		08LcPre	ラッチカウンタ・プリセット機能	CH1 のラッチカウント値 1 を取得します。	1.00A
9		09ChkOvr	オーバフロー検出処理	CH1 のオーバフロー・アンダフローを検出します。	1.00A
10		10ChkFrq	周波数測定モード	CH1 の周波数測定値を取得します。	1.00A
11		11ChkRsp	回転速度測定モード	CH1 の回転速度測定値を取得します。	1.00A
12		12ChkPls	パルス測定モード	CH1 のパルス測定値を取得します。	1.00A
13		13OutPwm	PWM 出力モード	CH1 から PWM パルスを出力します。	1.00A
14		14RstErr	エラー、ワーニングリセット	CH1 のエラー、ワーニングリセットを行います。	1.00A
15		15Match	一致検出割込み機能	一致検出割込み機能を実現します。	1.00A

## サンプラダー使用前提条件

### ■内蔵 I/O 機能の設定

本プログラムで使用する L26CPU-BT 内蔵 I/O 機能の設定を説明します。

#### (1) 高速カウンタ CH1/CH2 詳細設定

1) 高速カウンタ機能(CH1)を使用するにチェック。

2) 高速カウンタのパラメータ設定を実施。

※ 高速カウンタ機能(CH2)も同様に設定する。

※ 通常モード共通プログラムは、通常モードでの機能別プログラムを始動する前に必ず始動してください。

※ 動作モード設定を切替えた場合の設定変更可能な箇所は以下の表の通りです。

高速カウンタCH1詳細設定

1) ☒ 高速カウンタ機能(CH1)を使用する

2)

出力信号	出力信号機能選択	エラー時出力モード
Yn0	カウンタ CH1 一致出力No.1	クリア
Yn1	カウンタ CH2 一致出力No.1	クリア
Yn2	カウンタ CH1 一致出力No.2	クリア
Yn3	カウンタ CH2 一致出力No.2	クリア
Yn4	汎用出力	クリア
Yn5	汎用出力	クリア
Yn6	汎用出力	クリア
Yn7	汎用出力	クリア

本プログラムでは以下の表に従って、各動作モードに応じたプログラムの設定をしてください。

ただし、プログラム設定時には以下の点に注意してください。

- (1) 使用するプログラムは、プログラム設定にてスキンプログラムと設定してください。
- 使用しないプログラムは、プログラム設定にて待機プログラムと設定するか、削除してください。

表 1-1 各動作モード時の使用プログラム

使用 プログラム名	通常モード						周波数測定 モード	回転数測定 モード	パルス測定 モード	PWM 出力モ ード
	カウントディセーブル機能		ラッチ カウンタ機能	サンプリング カウンタ機能	カウントディ セーブル・プ リセット機能	ラッチカウン タ・プリセット 機能				
	リング カウンタ	リニア カウンタ								
01CmnPgm	○	○ ※1	○※1	○※1	○※1	○※1	×	×	×	×
02PreSet	○	×	○	○	○	○	×	×	×	×
03MchOut	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×
04Lcnt1	×	×	○	×	×	○	×	×	×	×
05Lcnt2	×	×	○	×	×	○	×	×	×	×
06DisCnt	○	×	×	×	○	×	×	×	×	×
07SplCnt	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×
08LcPre	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×
09ChkOvr	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×
10ChkFrq	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×
11ChkRsp	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×
12ChkPls	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×
13OutPwm	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○
14RstErr	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×
15Match	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×

○：使用するプログラム

×：使用しないプログラム

※1：リニアカウンタを設定する場合は、リングカウンタ上下限值書込み命令(ICRNGWR1)を実行しないようにプログラムを変更してください。

## (2) 入出力信号設定

1) 入力信号及び出力信号機能選択にて、高速カウンタ機能をそれぞれ選択。

1)-1 入力信号を設定する。

1)-2 出力信号を設定する。

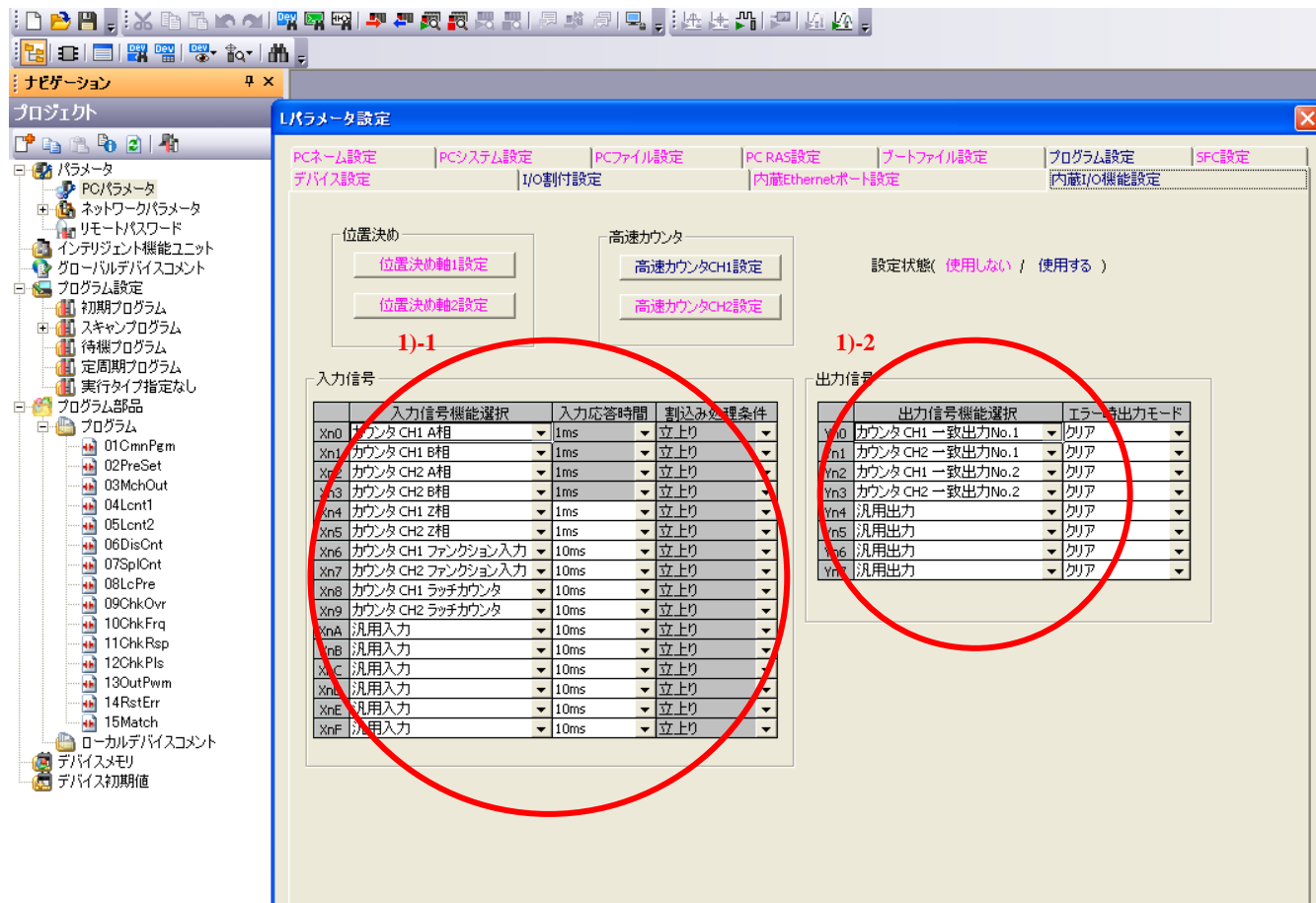


表 1-2 高速カウンタ機能の外部入出力信号割り付け表

外部入力信号	
X0(高速)	CH1 A 相 ※1
X1(高速)	CH1 B 相 ※1
X2(高速)	CH2 A 相 ※1
X3(高速)	CH2 B 相 ※1
X4(高速)	CH1 Z 相 ※2
X5(高速)	CH2 Z 相 ※2
X6(標準)	CH1 ファンクション入力信号 ※2
X7(標準)	CH2 ファンクション入力信号 ※2
X8(標準)	CH1 ラッチカウンタ入力信号 ※2
X9(標準)	CH2 ラッチカウンタ入力信号 ※2
XA(標準)	× ※3
XB(標準)	× ※3
XC(標準)	× ※3
XD(標準)	× ※3
XE(標準)	× ※3
XF(標準)	× ※3

※1 高速カウンタ機能を使用する場合、割込み入力機能は使用できません。  
汎用入力などそのほかの機能は使用できます。

※2 使用しない場合、汎用入力など他機能で使用できます。

※3 機能選択で該当機能(高速カウンタ機能または位置決め機能)を選択しているときには使用しません。汎用入力など他機能として使用できます。

外部出力信号	
Y0	CH1 一致出力 No.1 信号 ※1
Y1	CH2 一致出力 No.1 信号 ※1
Y2	CH1 一致出力 No.2 信号 ※2
Y3	CH2 一致出力 No.2 信号 ※2
Y4	× ※3
Y5	× ※3
Y6	× ※3
Y7	× ※3

※1 パラメータの設定によっては必ず使用します。使用しない場合、汎用出力機能で使用できます。

※2 使用しない場合、汎用出力機能で使用できます。

※3 機能選択で該当機能(高速カウンタ機能または位置決め機能)を選択しているときには使用しません。汎用出力機能として使用できます。

## 関連マニュアル

MELSEC-L CPU ユニットユーザーズマニュアル(機能解説・プログラム基礎編)

MELSEC-L CPU ユニットユーザーズマニュアル(内蔵 I/O 機能編)

## お願い

本マニュアルはサンプラダーの機能を説明した資料です。ユニットやシーケンサの使用上の制限事項、組み合わせによる制限事項などについては記載されていません。ご使用にあたりましては、必ず対象製品のユーザーズマニュアルをお読みいただきますようお願い申し上げます。

サンプラダーの詳細仕様や動作タイミングは、MELSEC-L CPU ユニットユーザーズマニュアル(内蔵 I/O 機能編)を参照ください。また、本マニュアルに記載されているサンプラダーと MELSEC-L CPU ユニットユーザーズマニュアル(内蔵 I/O 機能編)に記載されているサンプラダーは、作成時期の違いにより記載内容が異なる場合があります。



## 2. 通常モード共通

### 機能概要

通常モードで動作させる場合の共通処理を行います。

### 使用プログラム

本機能は以下のプロジェクト(プログラム名)を使用しています。

・LD-LCPU\_CNT\_V100A\_J(01CmnPgm)

### 使用デバイス

本プログラムで使用するデバイスを以下に示します。

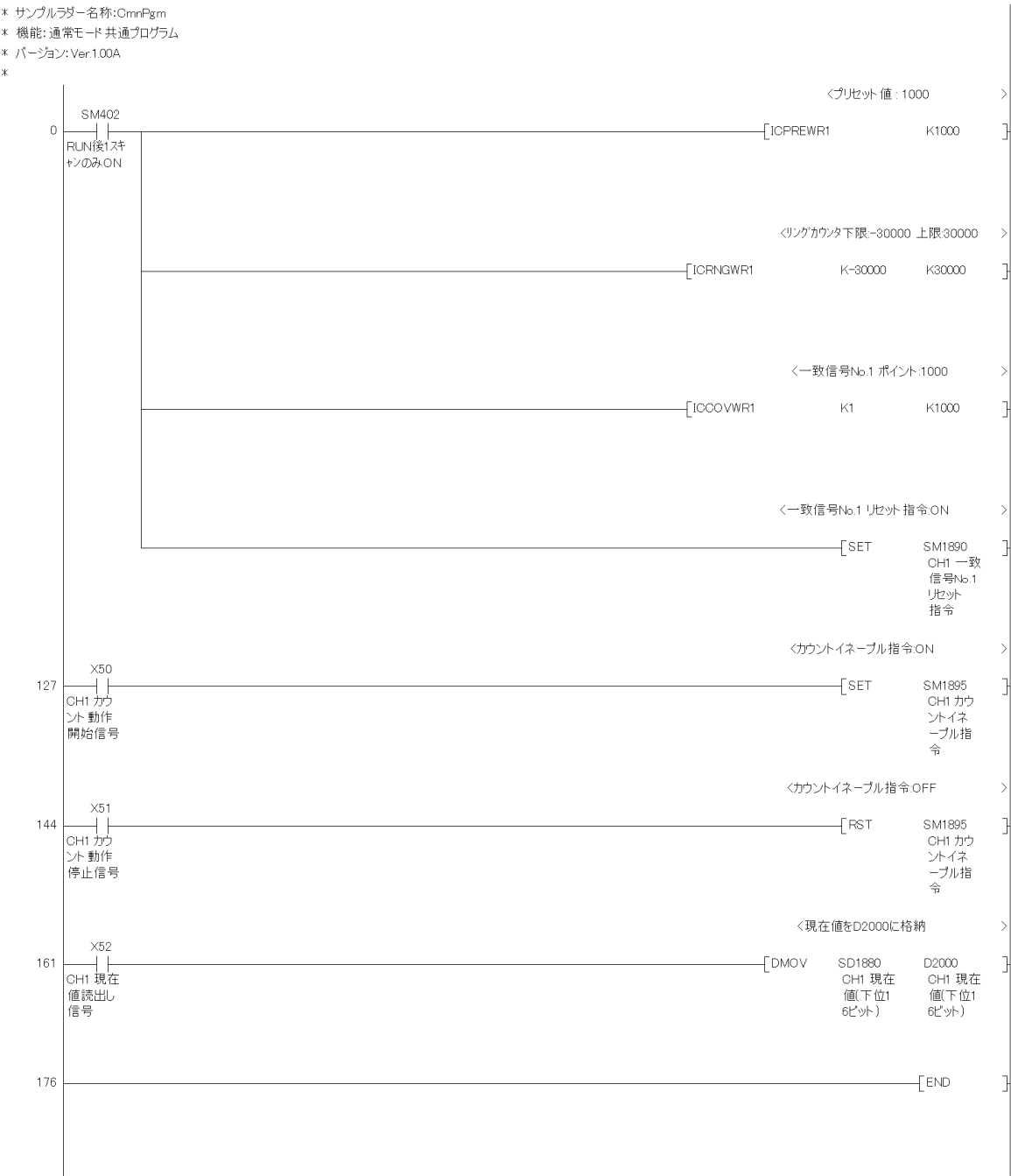
No.	デバイス名	データ型	用 途	備 考
1	SM402	ビット	通常モード共通プログラム起動トリガ	RUN 後 1 スキャンのみ ON します。
2	SM1890	ビット	CH1 一致信号 No.1 リセット指令	-
3	SM1895	ビット	CH1 カウントイネーブル指令	-
4	SD1880	ワード (バイナリ)	CH1 現在値(下位 16 ビット)	-
5	SD1881	ワード (バイナリ)	CH1 現在値(上位 16 ビット)	
6	X50	ビット	CH1 カウント動作開始信号	CH1 用のカウント動作開始信号を保持します。
7	X51	ビット	CH1 カウント動作停止信号	CH1 用のカウント動作停止信号を保持します。
8	X52	ビット	CH1 現在値読出し信号	CH1 用の現在値読出し信号を保持します。
9	D2000	ワード (バイナリ)	CH1 現在値(下位 16 ビット)	CH1 の現在値を格納します。
10	D2001	ワード (バイナリ)	CH1 現在値(上位 16 ビット)	

バージョンアップ履歴

バージョン	日付	内容
1.00A	2011/04/30	初版作成

プログラム

\* サンプルラダー名称:OmniPgm  
\* 機能: 通常モード 共通プログラム  
\* バージョン: Ver.1.00A  
\*



3. プリセット機能

機能概要

プリセット指令の ON/OFF を行います。

使用プログラム

本機能は以下のプロジェクト(プログラム名)を使用しています。

・LD-LCPU\_CNT\_V100A\_J(02PreSet)

使用デバイス

本プログラムで使用するデバイスを以下に示します。

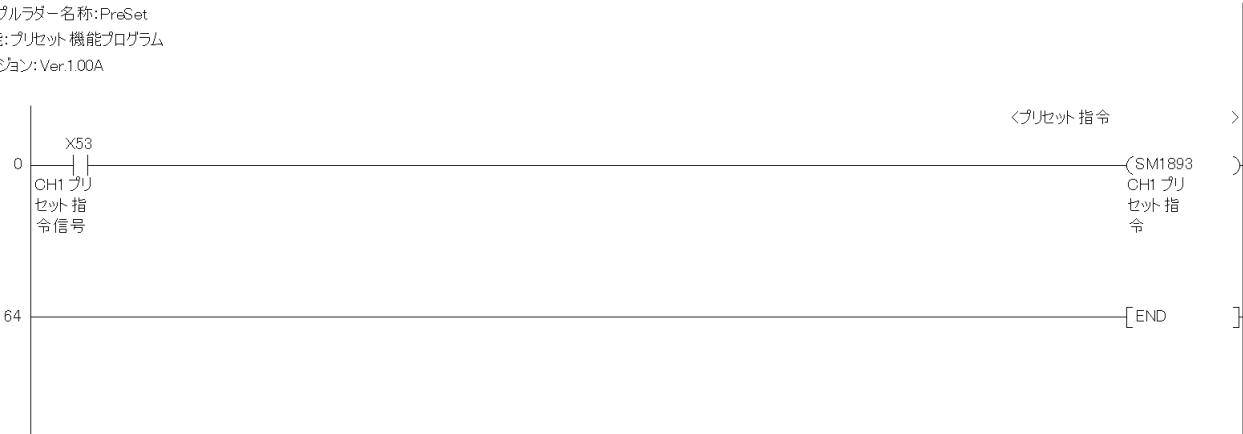
No.	デバイス名	データ型	用 途	備 考
1	SM1893	ビット	CH1 プリセット指令	-
2	X53	ビット	CH1 プリセット指令信号	CH1 用のプリセット指令信号を保持します。

バージョンアップ履歴

バージョン	日付	内容
1.00A	2011/04/30	初版作成

プログラム

\* サンプルラダー名称:PreSet  
\* 機能:プリセット 機能プログラム  
\* バージョン: Ver.1.00A  
\*



4. 一致出力機能

機能概要

CH1 の一致出力リセット指令の ON/OFF を行います。

使用プログラム

本機能は以下のプロジェクト(プログラム名)を使用しています。

・LD-LCPU\_CNT\_V100A\_J(03MchOut)

使用デバイス

本プログラムで使用するデバイスを以下に示します。

No.	デバイス名	データ型	用 途	備 考
1	SM1881	ビット	CH1 カウンタ値一致 No.1	CH1 のカウンタ値一致 No.1 を保持します。
2	SM1890	ビット	CH1 一致信号 No.1 リセット指令	-
3	SM1892	ビット	CH1 一致出力イネーブル指令	-
4	X5B	ビット	CH1 一致出力許可信号	CH1 の一致出力許可信号を保持します。
5	X5C	ビット	CH1 一致 LED クリア信号	CH1 の一致 LED クリア信号を保持します。
6	Y70	ビット	CH1 一致確認用 LED 信号	CH1 の一致確認用 LED 信号を出力します。

バージョンアップ履歴

バージョン	日付	内容
1.00A	2011/04/30	初版作成

プログラム

\* サンプルラダー名称:MchOut  
\* 機能:一致出力機能プログラム  
\* バージョン: Ver.1.00A  
\*



## 5. ラッチカウンタ 1

### 機能概要

ラッチカウンタ 1 のラッチカウント値を取得します。

### 使用プログラム

本機能は以下のプロジェクト(プログラム名)を使用しています。

・LD-LCPU\_CNT\_V100A\_J(04Lcnt1)

### 使用デバイス

本プログラムで使用するデバイスを以下に示します。

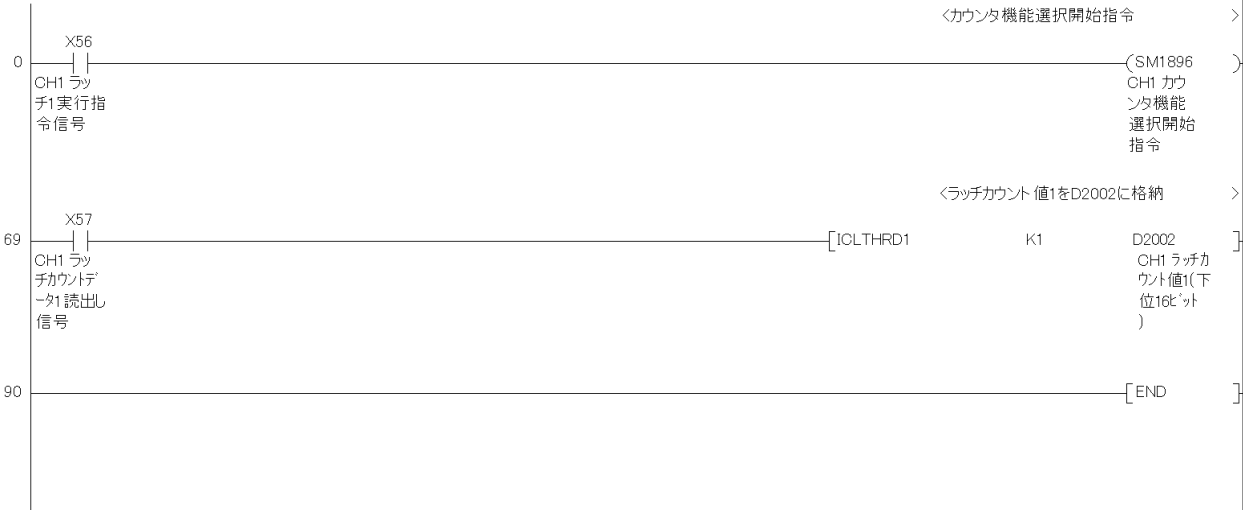
No.	デバイス名	データ型	用 途	備 考
1	SM1896	ビット	CH1 カウンタ機能選択開始指令	-
2	X56	ビット	CH1 ラッチ 1 実行指令信号	CH1 のラッチ 1 実行指令信号を保持します。
3	X57	ビット	CH1 ラッチカウントデータ 1 読出し信号	CH1 のラッチカウントデータ 1 読出し信号を保持します。
4	D2002	ワード (バイナリ)	CH1 ラッチカウント値 1(下位 16 ビット)	CH1 のラッチカウント値 1 を格納します。
5	D2003	ワード (バイナリ)	CH1 ラッチカウント値 1(上位 16 ビット)	

### バージョンアップ履歴

バージョン	日付	内容
1.00A	2011/04/30	初版作成

プログラム

\* サンプルラダー名称:Lcnt1  
\* 機能:ラッチカウンタ1プログラム  
\* バージョン: Ver.1.00A  
\*



6. ラッチカウンタ 2

機能概要

ラッチカウンタ 2 のラッチカウント値を取得します。

使用プログラム

本機能は以下のプロジェクト(プログラム名)を使用しています。

・LD-LCPU\_CNT\_V100A\_J(05Lcnt2)

使用デバイス

本プログラムで使用するデバイスを以下に示します。

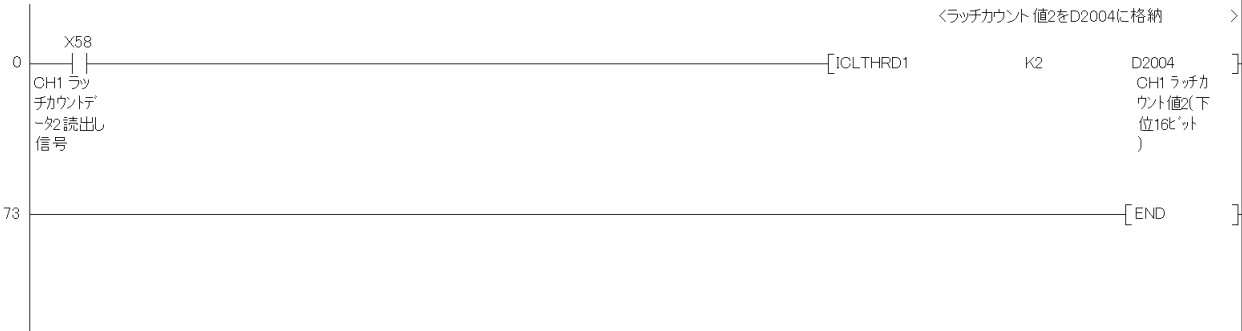
No.	デバイス名	データ型	用 途	備 考
1	X58	ビット	CH1 ラッチカウントデータ 2 読出し信号	CH1 のラッチカウント 2 読出し信号を保持します。
2	D2004	ワード (バイナリ)	CH1 ラッチカウント値 2(下位 16 ビット)	CH1 のラッチカウント値 2 を格納します。
3	D2005	ワード (バイナリ)	CH1 ラッチカウント値 2(上位 16 ビット)	

バージョンアップ履歴

バージョン	日付	内容
1.00A	2011/04/30	初版作成

プログラム

\* サンプルラダー名称: Lcnt2  
\* 機能: ラッチカウンタプログラム  
\* バージョン: Ver.1.00A  
\*





7. カウントディセーブル機能

機能概要

CH1 のカウンタ機能選択開始信号の ON/OFF を行います。

使用プログラム

本機能は以下のプロジェクト(プログラム名)を使用しています。

・LD-LCPU\_CNT\_V100A\_J(06DisCnt)

使用デバイス

本プログラムで使用するデバイスを以下に示します。

No.	デバイス名	データ型	用 途	備 考
1	SM1896	ビット	CH1 カウンタ機能選択開始指令	-
2	X54	ビット	CH1 カウンタ機能実行開始信号	CH1 のカウンタ機能実行開始信号を保持します。
3	X55	ビット	CH1 カウンタ機能実行停止信号	CH1 のカウンタ機能実行停止信号を保持します。

バージョンアップ履歴

バージョン	日付	内容
1.00A	2011/04/30	初版作成

プログラム

\* サンプルラダー名称: DisCnt  
\* 機能: カウントディセーブル機能プログラム  
\* バージョン: Ver.1.00A  
\*



## 8. サンプリングカウンタ機能

### 機能概要

CH1 のサンプリングカウントデータを取得します。

### 使用プログラム

本機能は以下のプロジェクト(プログラム名)を使用しています。

・LD-LCPU\_CNT\_V100A\_J(07SplCnt)

### 使用デバイス

本プログラムで使用するデバイスを以下に示します。

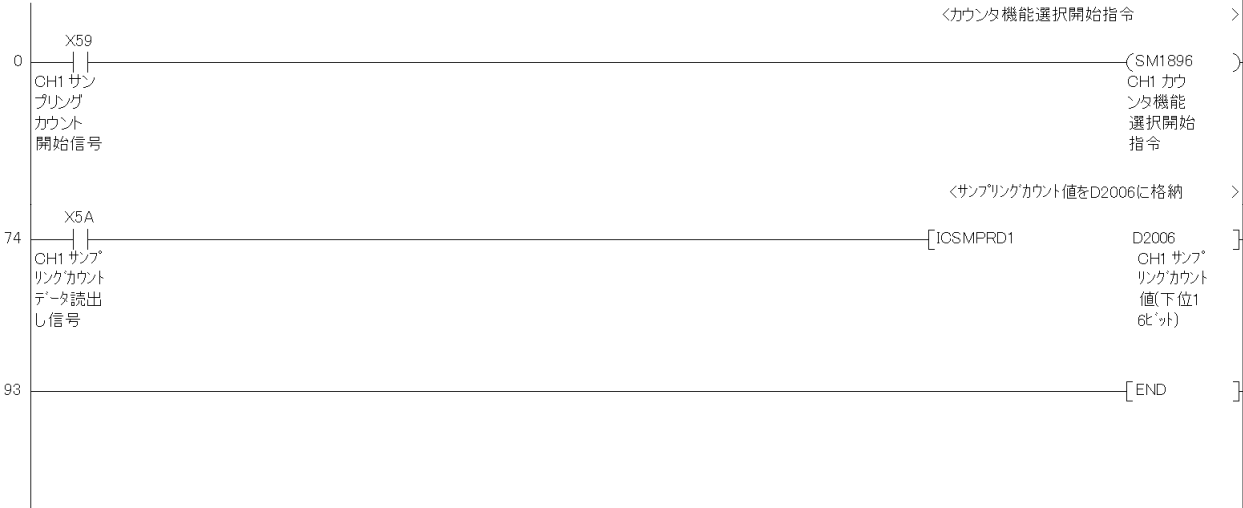
No.	デバイス名	データ型	用 途	備 考
1	SM1896	ビット	CH1 カウンタ機能選択開始指令	-
2	X59	ビット	CH1 サンプリングカウント開始信号	CH1 のサンプリングカウント開始信号を保持します。
3	X5A	ビット	CH1 サンプリングカウントデータ読出し信号	CH1 のサンプリングカウントデータ読出し信号を保持します。
4	D2006	ワード (バイナリ)	CH1 サンプリングカウント値 (下位 16 ビット)	CH1 のサンプリングカウント値を格納します。
5	D2007	ワード (バイナリ)	CH1 サンプリングカウント値 (上位 16 ビット)	

### バージョンアップ履歴

バージョン	日付	内容
1.00A	2011/04/30	初版作成

プログラム

\* サンプルラダー名称: SplCnt  
\* 機能: サンプリグカウンタ機能プログラム  
\* バージョン: Ver.1.00A  
\*



9. ラッチカウンタ・プリセット機能

機能概要

CH1 のラッチカウント値 1 を取得します。

使用プログラム

本機能は以下のプロジェクト(プログラム名)を使用しています。

・LD-LCPU\_CNT\_V100A\_J(08LcPre)

使用デバイス

本プログラムで使用するデバイスを以下に示します。

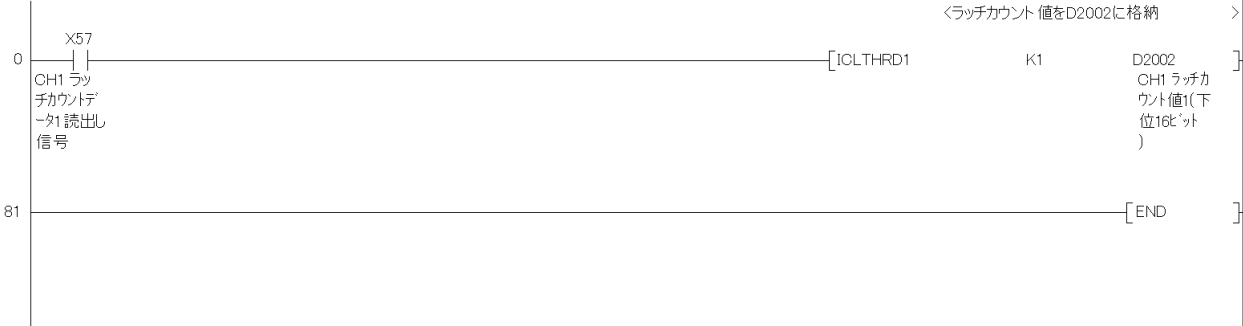
No.	デバイス名	データ型	用 途	備 考
1	X57	ビット	CH1 ラッチカウントデータ 1 読出し信号	CH1 のラッチカウントデータ 1 読出し信号を保持します。
2	D2002	ワード (バイナリ)	CH1 ラッチカウント値 1(下位 16 ビット)	CH1 のラッチカウント値 1 を格納します。
3	D2003	ワード (バイナリ)	CH1 ラッチカウント値 1(上位 16 ビット)	

バージョンアップ履歴

バージョン	日付	内容
1.00A	2011/04/30	初版作成

プログラム

\* サンプルラダー名称:LcPre  
\* 機能: ラッチカウンタ・プリセット 機能プログラム  
\* バージョン: Ver.1.00A  
\*



10. オーバフロー検出処理

機能概要

CH1 のオーバフロー・アンダフローを検出します。

使用プログラム

本機能は以下のプロジェクト(プログラム名)を使用しています。

・LD-LCPU\_CNT\_V100A\_J(09ChkOvr)

使用デバイス

本プログラムで使用するデバイスを以下に示します。

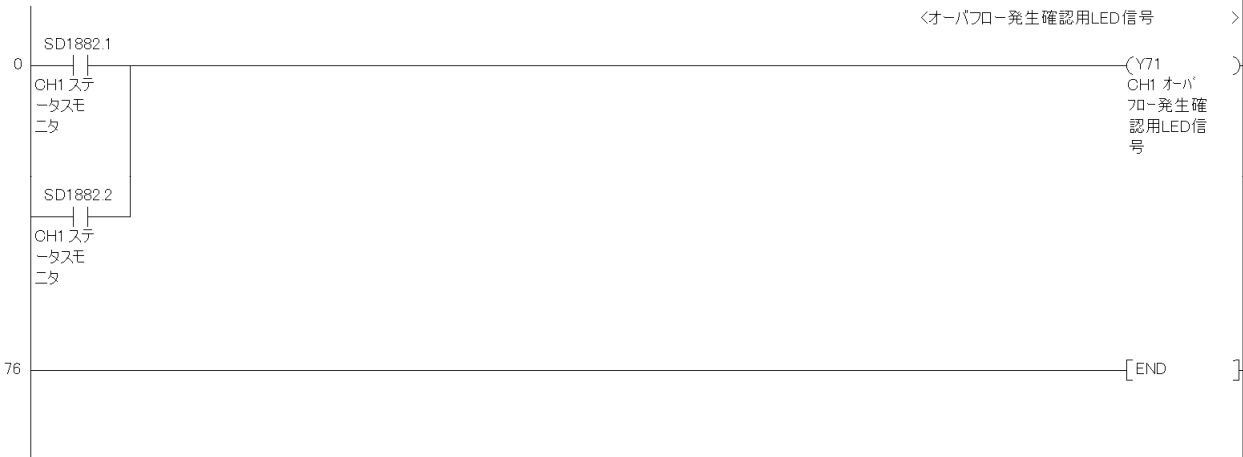
No.	デバイス名	データ型	用 途	備 考
1	SD1882	ビット	CH1 ステータスマニタ	b1:CH1 のアンダフロー検出フラグ b2:CH1 のオーバフロー検出フラグ
2	Y71	ビット	CH1 オーバフロー発生確認 用 LED 信号	CH1 のオーバフロー発生確認用 LED 信号を格 納します。

バージョンアップ履歴

バージョン	日付	内容
1.00A	2011/04/30	初版作成

プログラム

\* サンプルラダー名称: ChkOvr  
\* 機能: オーバフロー検出処理プログラム  
\* バージョン: Ver.1.00A  
\*



11. 周波数測定モード

機能概要

CH1 の周波数測定値を取得します。

使用プログラム

本機能は以下のプロジェクト(プログラム名)を使用しています。

・LD-LCPU\_CNT\_V100A\_J(10ChkFrq)

使用デバイス

本プログラムで使用するデバイスを以下に示します。

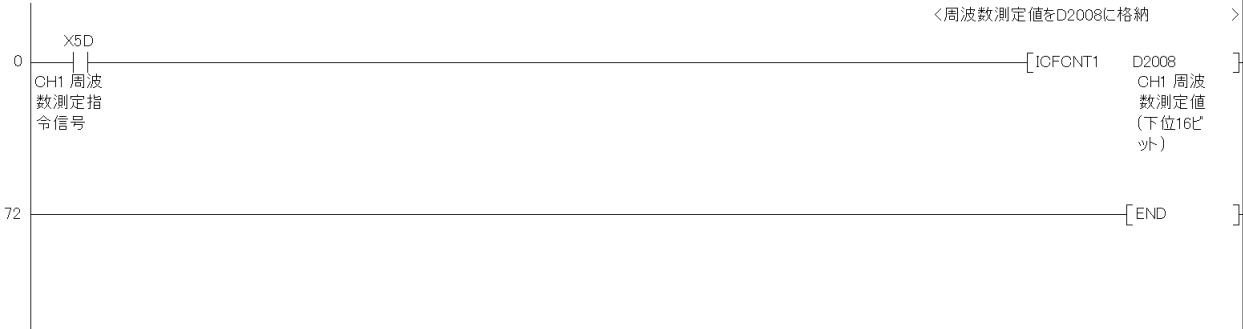
No.	デバイス名	データ型	用 途	備 考
1	X5D	ビット	CH1 周波数測定指令信号	CH1 の周波数測定指令信号を保持します。
2	D2008	ワード (バイナリ)	CH1 周波数測定値(下位 16 ビット)	CH1 の周波数測定値を格納します。
3	D2009	ワード (バイナリ)	CH1 周波数測定値(上位 16 ビット)	

バージョンアップ履歴

バージョン	日付	内容
1.00A	2011/04/30	初版作成

プログラム

\* サンプルラダー名称: ChkFrq  
\* 機能: 周波数測定モードプログラム  
\* バージョン: Ver.1.00A  
\*



12. 回転速度測定モード

機能概要

CH1 の回転速度測定値を取得します。

使用プログラム

本機能は以下のプロジェクト(プログラム名)を使用しています。

・LD-LCPU\_CNT\_V100A\_J(11ChkRsp)

使用デバイス

本プログラムで使用するデバイスを以下に示します。

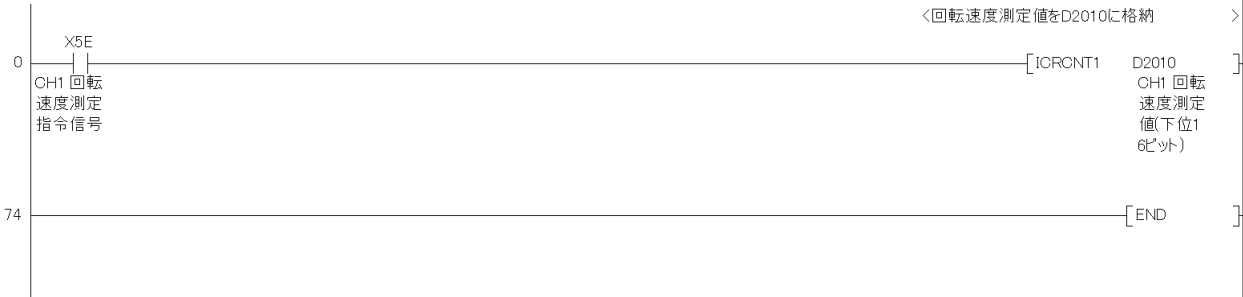
No.	デバイス名	データ型	用 途	備 考
1	X5E	ビット	CH1 回転速度測定指令信号	CH1 の回転速度測定指令信号を保持します。
2	D2010	ワード (バイナリ)	CH1 回転速度測定値(下位 16ビット)	CH1 の回転速度測定値を格納します。
3	D2011	ワード (バイナリ)	CH1 回転速度測定値(上位 16ビット)	

バージョンアップ履歴

バージョン	日付	内容
1.00A	2011/04/30	初版作成

プログラム

\* サンプルラダー名称: ChkRsp  
\* 機能: 回転速度測定モードプログラム  
\* バージョン: Ver.1.00A  
\*





### 13. パルス測定モード

#### 機能概要

CH1 のパルス測定値を取得します。

#### 使用プログラム

本機能は以下のプロジェクト(プログラム名)を使用しています。

・LD-LCPU\_CNT\_V100A\_J(12ChkPls)

#### 使用デバイス

本プログラムで使用するデバイスを以下に示します。

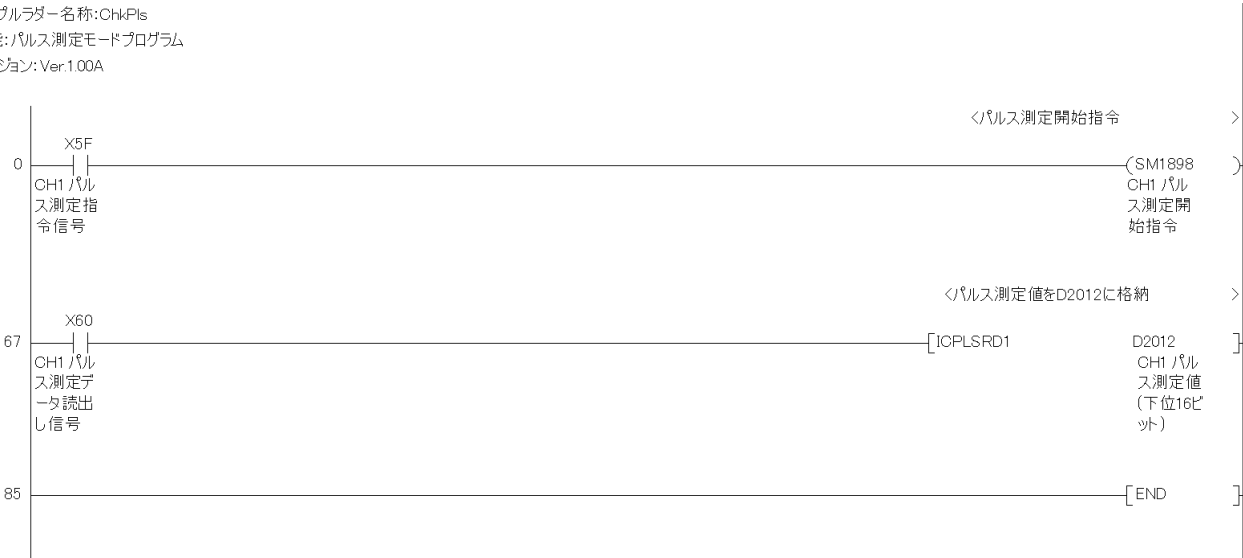
No.	デバイス名	データ型	用 途	備 考
1	SM1898	ビット	CH1 パルス測定開始指令	-
2	X5F	ビット	CH1 パルス測定指令信号	CH1 のパルス測定指令信号を保持します。
3	X60	ビット	CH1 パルス測定データ読出し信号	CH1 のパルス測定データ読出し信号を保持します。
4	D2012	ワード (バイナリ)	CH1 パルス測定値(下位 16ビット)	CH1 のパルス測定値を格納します。
5	D2013	ワード (バイナリ)	CH1 パルス測定値(上位 16ビット)	

#### バージョンアップ履歴

バージョン	日付	内容
1.00A	2011/04/30	初版作成

プログラム

\* サンプルラダー名称: ChkPls  
\* 機能: パルス測定モードプログラム  
\* バージョン: Ver.1.00A  
\*



14. PWM出力モード

機能概要

CH1 から PWM パルスを出力します。

使用プログラム

本機能は以下のプロジェクト(プログラム名)を使用しています。

・LD-LCPU\_CNT\_V100A\_J(13OutPwm)

使用デバイス

本プログラムで使用するデバイスを以下に示します。

No.	デバイス名	データ型	用 途	備 考
1	X61	ビット	CH1 PWM 出力指令信号	CH1 の PWM 出力指令信号を保持します。

バージョンアップ履歴

バージョン	日付	内容
1.00A	2011/04/30	初版作成

プログラム

\* サンプルラダー名称: OutPwm

\* 機能: PWM出力モードプログラム

\* バージョン: Ver.1.00A

\*

\* PWM出力ON時間:0.1ms PWM出力周期時間設定:0.2ms 5kHzを出力

0

X61

CH1 PWM出力指令信号

[ICPWM1 K1000 K2000]

60

[END]

## 15. エラー、ワーニングリセット

### 機能概要

CH1 のエラー、ワーニングリセットを行います。

### 使用プログラム

本機能は以下のプロジェクト(プログラム名)を使用しています。

・LD-LCPU\_CNT\_V100A\_J(14RstErr)

### 使用デバイス

本プログラムで使用するデバイスを以下に示します。

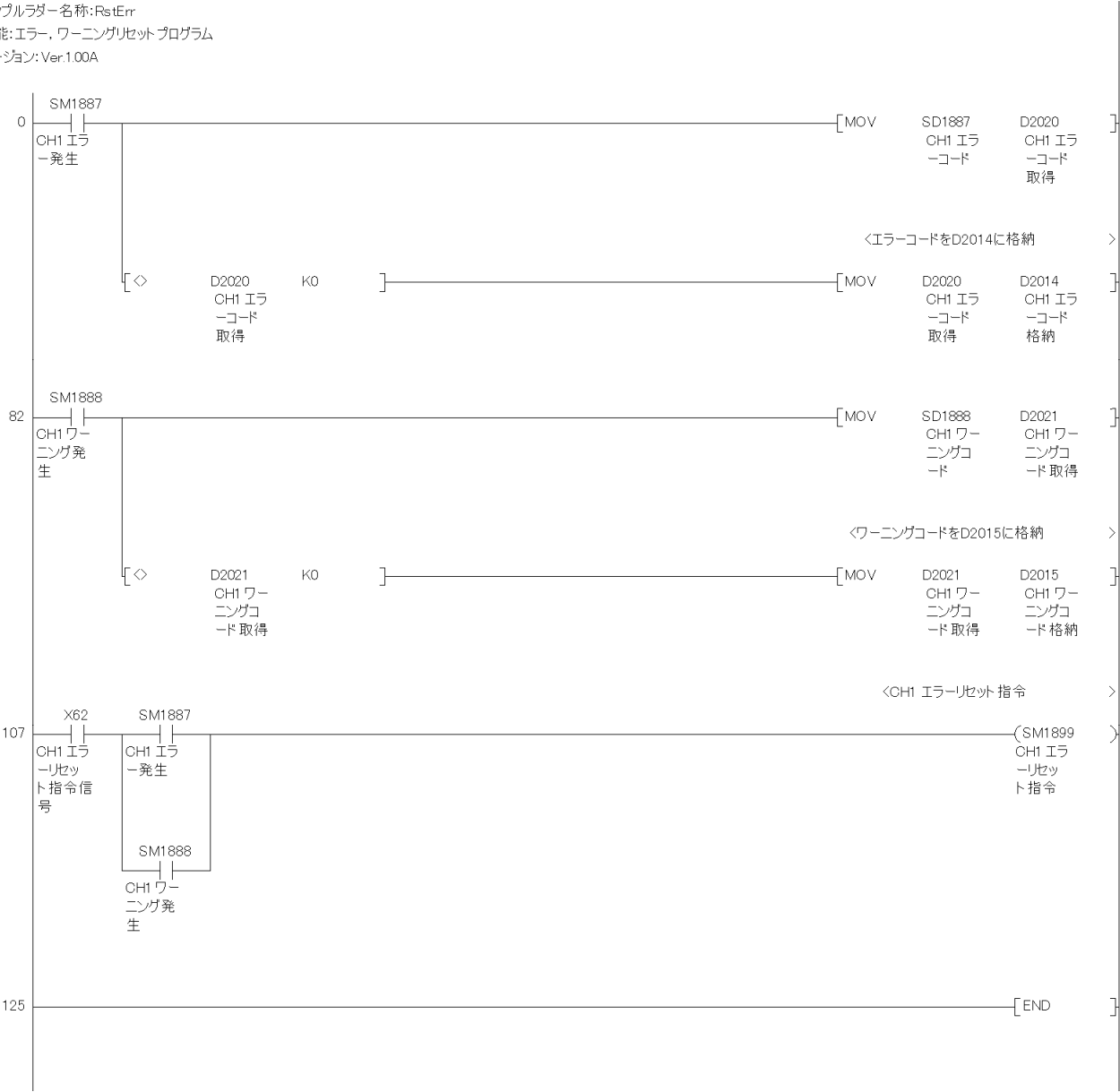
No.	デバイス名	データ型	用 途	備 考
1	SM1887	ビット	CH1 エラー発生	-
2	SM1888	ビット	CH1 ワーニング発生	-
3	SM1899	ビット	CH1 エラーリセット指令	-
4	SD1887	ワード (バイナリ)	CH1 エラーコード	-
5	SD1888	ワード (バイナリ)	CH1 ワーニングコード	-
6	X62	ビット	CH1 エラーリセット指令信号	CH1 のエラーリセット指令信号を保持します。
7	D2020	ワード (バイナリ)	CH1 エラーコード取得	CH1 のエラーコードを取得します。
8	D2014	ワード (バイナリ)	CH1 エラーコード格納	CH1 のエラーコードを格納します。
9	D2021	ワード (バイナリ)	CH1 ワーニングコード取得	CH1 のワーニングコードを取得します。
10	D2015	ワード (バイナリ)	CH1 ワーニングコード格納	CH1 のワーニングコードを格納します。

### バージョンアップ履歴

バージョン	日付	内容
1.00A	2011/04/30	初版作成

プログラム

\* サンプルラダー名称: RstErr  
\* 機能: エラー、ワーニングリセットプログラム  
\* バージョン: Ver.1.00A  
\*



## 16. 一致検出割込み機能

### 機能概要

一致検出割込み機能を実現します。

### 使用プログラム

本機能は以下のプロジェクト(プログラム名)を使用しています。

・LD-LCPU\_CNT\_V100A\_J(15Match)

### 使用デバイス

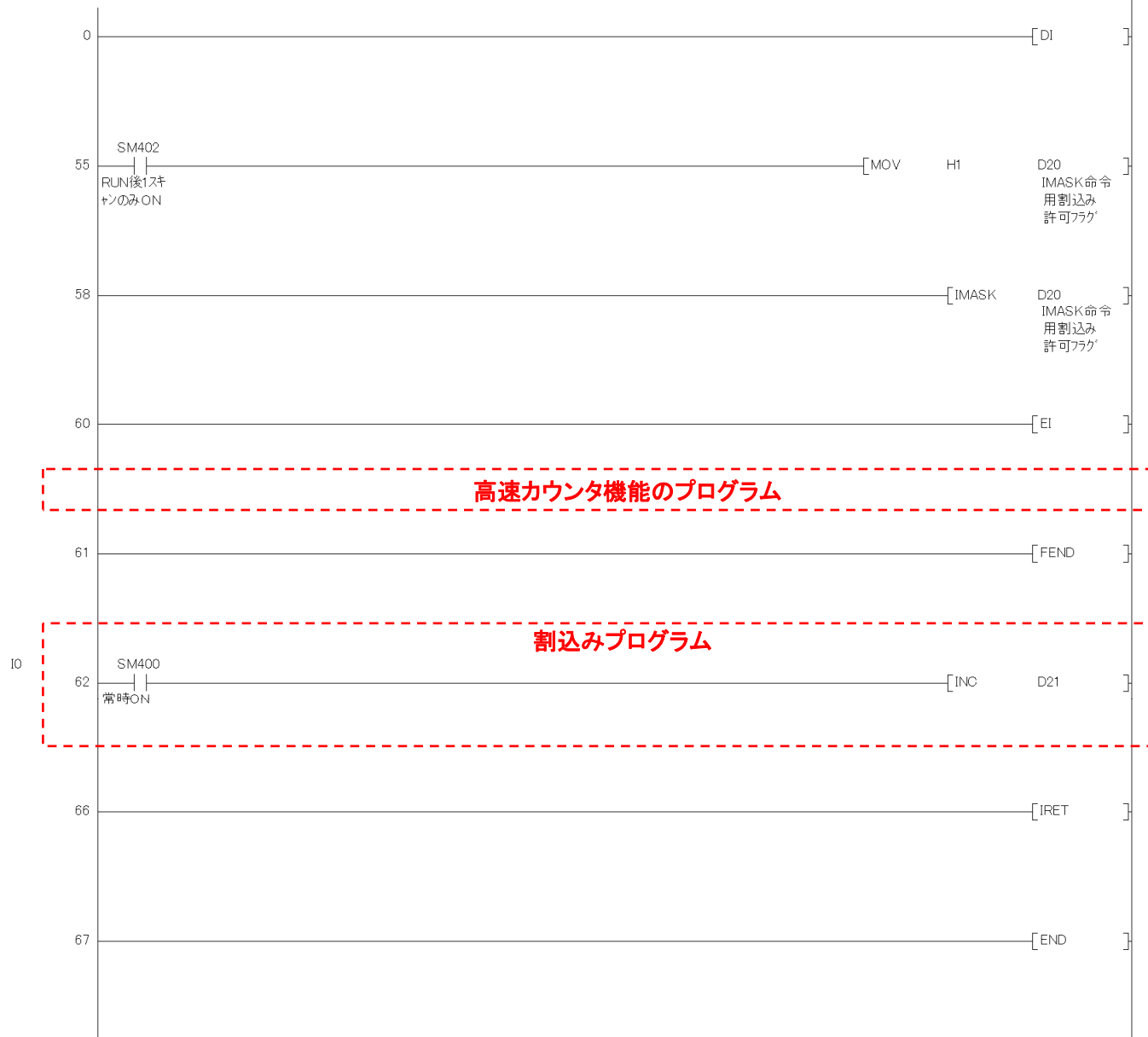
本プログラムで使用するデバイスを以下に示します。

	デバイス名	データ型	用 途	備 考
1	SM402	ビット	一致検出割込み使用プログラムトリガ	RUN 後1スキャンのみ ON します。
2	D20	ワード (バイナリ)	IMASK 命令用割込み許可フラグ格納デバイス	IMASK 命令用割込み許可フラグを格納します。

### バージョンアップ履歴

バージョン	日付	内容
1.00A	2011/04/30	初版作成

\* サンプルラダー名称: Match  
\* 機能: 一致検出割込み機能プログラム  
\* バージョン: Ver.1.00A  
\*



※ 割込みプログラム実行時は常に D21 をインクリメントしています。